

2021年11月11日
(2021年11月11日 米国報道発表資料抄訳)
Okta Japan 株式会社

報道関係者各位

【抄訳】Okta、日本国内でデータを保管するサービス「Okta Infrastructure」 の稼働計画を発表し、グローバルでの事業拡大を継続

日本の事業への投資は、アイデンティティ分野における Okta の成長と顧客の成功へのコミットメントを示します

アイデンティティ管理のサービスプロバイダーである Okta, Inc.（本社：米国・サンフランシスコ 以下 Okta）は、日本で成長する Okta の顧客基盤をサポートするため、アマゾン ウェブ サービス（AWS）を利用して、日本国内でデータを保管するサービス「Okta Infrastructure」を 2022 年 2 月に稼働する計画を発表しました。これは、Okta の日本市場へのコミットメントを示すものです。

Okta の技術担当プレジデント兼最高技術責任者（CTO）、Sagnik Nandy は次のように述べています。「世界中の企業は、新しいテクノロジーを導入すると同時に、従業員や顧客を魅了したり、保護するためには、アイデンティティのアクセス管理が不可欠であることを知っています。当社は、あらゆる人があらゆる技術を安全に利用できるようにするというビジョンを加速させるために、グローバル展開に投資しています。Okta の日本における顧客基盤の拡大に伴い、最高レベルの運用のためには、データを日本で保管する国内インフラストラクチャが重要です。日本の Okta Infrastructure は、北米、欧州、オーストラリアの AWS リージョンをはじめ、世界中ですでに稼働している Okta Infrastructure のリストに追加されます。当社は、グローバルでのサービス展開を進めていく中で、それぞれの地域のお客様に Okta Infrastructure を提供していきます。」

この新しい日本の Okta Infrastructure は、東京と大阪に位置する地理的に離れた 2 つの AWS リージョンに構築されており、日本のお客様は、サービスとそのデータに地理的に近い場所でアイデンティティ管理・認証基盤プラットフォーム「Okta Identity Cloud」を利用することができます。Okta Infrastructure とは、Okta が提供する全ての製品や機能を提供するインフラストラクチャと同一の構成です。

日本国内の Okta Infrastructure の主な構成要素は以下の通りです。

Press Release



- 東京にあるプライマリインフラストラクチャサービスで、すべてのデータは大阪にあるディザスタリカバリリージョンにレプリケートされます。
- 他の地域（米国、欧州、オーストラリア）の Okta Infrastructure へのデータのレプリケーションやバックアップは行われません。
- 99.99%のアップタイムとゼロ計画ダウンタイムを実現するために設計された、最大限の分離と高可用性を備えたマルチテナントアーキテクチャです。
- インフラストラクチャにおける障害は、特定の Okta Infrastructure に限定され、他の地域の Okta Infrastructure に影響を与えることはなく、その逆も同様です。
- Okta Infrastructure は、冗長化された高可用性（HA）アーキテクチャを用いて構築されているため、AWS リージョン全体がダウンしても、ディザスタリカバリリージョンのサービスが起動することで Okta サービスは継続して稼働します。
- Okta サービスのインフラストラクチャとコードベースは、標準的な運用とリリース方法に従って、他のリージョンの Okta Infrastructure と同じスケジュールで更新されます。

Okta Japan 株式会社の代表取締役社長、渡邊 崇は、次のように述べています。「2020 年 9 月に日本法人を開設して以来、日本の顧客基盤は成長を続けています。今回、日本における Okta Infrastructure を構築することにより、お客様のニーズに応じて、Okta サービスを日本でホストする選択肢を提供できるようになります。これは、日本でのビジネスをさらに加速させることに大きく貢献するでしょう」

Okta について

Okta は、すべての人のアイデンティティとアクセスを安全に管理するベンダーニュートラルなサービスプロバイダーです。Okta が提供するプラットフォーム「Okta Identity Cloud」により、クラウド、オンプレミスを問わず、適切な人に適切なテクノロジーを適切なタイミングで安全に利用できるようにします。7,000 以上のアプリケーションとの事前連携が完了している「Okta Integration Network」を活用して、あらゆる人や組織にシンプルかつ安全なアクセスを提供し、お客様の潜在能力を最大限発揮できるように支援します。JetBlue、Nordstrom、Siemens、Slack、Takeda、Teach for America、Twilio を含む 13,050 以上のお客様が Okta を活用して、職場や顧客のアイデンティティを保護しています。

<https://www.okta.com/jp/>

※アマゾン ウェブ サービス、および AWS は米国および/またはその他の諸国における Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。